

事務事業名		直轄治山環境整備事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		林務課		H27係等名	森林保全係		H26係等名	森林保全係		
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	51	緑の保全と創出						
目的	対象(誰・何を)	林道松川入線 直轄治山事業区域内の民有林			対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	林道松川入線を改良することにより、森林荒廃地の早期復旧による公益的機能の回復を図る。 民有林直轄治山事業の推進				直轄治山環境整備事業計画延長(m)			107	
	向上させたい上位施策の成果指標	森林面積								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	林道改良実施済延長(m)			60	107	60	60		
	定性目標									
事業概要	飯田市の重要水源で森林資源が豊富な松川入地区について、国が進めている民有林直轄治山事業を円滑に行うため、唯一の進入路である松川入線が重要であり、通行量の増大に伴い、危険箇所や崩落箇所等改良の必要な箇所について、早急に対策を講じるため関連改良工事を実施する。									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	林道松川入線改良工事 1 舗装工 2 ガードレール工				施工延長			1 L=64.4m 2 L=43.0m		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		1,506	1,434	1,433	1,382					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		1,506	1,434	1,433	1,382					
人件費計(千円)②		143		143						
正規職員所要時間		40		40						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		1,649	1,434	1,576	1,382					
事業内容・目標達成状況の振り返り	林野庁飯田治山事業署職員と連絡を取りながら事業を実施した。									
改革改善の考え方	①問題点	直轄治山事業工事関係者の通行が非常に多い路線でありながら、法面保護等が未施工で、崩落の恐れのある延長が長い。								
	②改革提案	施工位置が点在するすることになっても、危険度が高い位置から施工をしていく。								